

別添様式 2

学 則

1 事業者の名称及び所在地	有限会社みずほ企画 〒753-0813 山口県山口市吉敷中東1丁目1-1
2 研修事業の名称	ヘルパー初任者研修（通信）
3 研修課程及び形式	<input checked="" type="checkbox"/> 介護職員初任者研修課程（通学・通信） <input type="checkbox"/> 生活援助従事者研修課程（通学・通信）
4 開講の目的	高齢者や障害者等が安心して質の高い介護サービスが受けられるように、実践的な知識と技術を備えた介護職員を養成することを目的とする。
5 受講対象者(受講資格)及び定員	受講対象者： 介護職員等を志す方 定員： 24名
6 募集方法（募集開始時期・受講決定方法を含む） 受講手続及び本人確認方法	募集方法：法人ホームページ、新聞広告、地域広報誌への掲載 募集開始時期：令和5年6月1日 申込方法：法人ホームページまたは法人受付の申込用紙により申込（先着順で受講決定） 本人確認：受講者の本人確認として、次の1）～8）のいずれか1つの提示によって、初回受講時に本人確認を行う。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 戸籍謄本、戸籍抄本もしくは住民票 2) 住民基本台帳カード 3) 在留カード等 4) 健康保険証 5) 運転免許証 6) パスポート 7) 年金手帳 8) 運転免許以外の国家資格を有する場合は、その免許証または登録証
7 研修参加費用	50,500円 (内訳)・受講料 45,000円 ・テキスト代 5,500円 (税込)
8 解約条件及び返金の有無	研修参加費用支払い後の返金はいかなる場合もできないものとする。
9 研修カリキュラム	別添様式 11-2 のとおり
10 研修会場 (名称及び所在地)	講義・演習会場：みずほビル 2階 2-D 〒753-0813 山口県山口市吉敷中東1丁目2-6 演習(入浴のみ)会場：ハートホーム山口 4階 展望浴室 〒753-0813 山口県山口市吉敷中東1丁目1-2
11 担当講師	別添様式 3「講師一覧」のとおり
12 実習施設	実習は行わない。

<p>13 使用教材（テキスト） （副教材も含む）</p>	<p>中央法規出版(株) 介護職員初任者研修テキスト1・2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通信課題 ・ 質問用紙 ・ 修了試験問題
<p>14 科目免除の取扱い</p>	<p>科目の免除は行わない。</p>
<p>15 通信形式の場合 その実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 添削指導及び面接指導の実施方法 ・ 評価方法及び認定基準 ・ 自宅学習中の質疑等への対応方法 	<p>添削指導及び面接指導の実施方法： 受講生には提出回に「通信課題」の提出を求め、受講生個々の内容理解の状況を確認し、理解不十分な点を重点的に指導する。講義後に必要に応じて質疑応答の時間を設ける。 また、理解状況が基準に達しない場合は、再度通信課題の提出を求める。</p> <p>評価方法： 採点結果を各提出回の次の通学日に講義会場にて返却する。 通信課題が不合格の場合は、合格点に達するまで再提出を求める。</p> <p>認定基準： 100点満点中、70点以上を合格、69点以下を不合格とする。</p> <p>自宅学習中の質疑等への対応方法： 受講者は解らない箇所が発生した場合、質問用紙を郵送、またはFAXにて担当者へ送付する。担当者は回答を記入後、質問した受講者へ郵送により返送する。</p>
<p>16 研修修了の認定方法</p>	<p>研修の全課程を修了し、通信課題が認定基準に達し、修了評価試験を適正に修了した者を介護職員初任者研修修了者として認定する。 介護技術の習得については各講義担当講師により適宜評価を行う。 修了評価試験については35点満点とし、24点以上（7割以上）の正答の場合に修了時に到達すべき水準に達したとみなす。24点未満の場合は別途面接指導を行い、再度修了評価試験を実施し合格点に達するまで指導を行う。</p>
<p>17 欠席者の取扱い（遅刻・早退の扱い含む）</p>	<p>理由の如何にかかわらず、各科目について15分以上の遅刻・早退者については欠席とみなす。</p>
<p>18 補講の取扱い （実施方法及び費用等）</p>	<p>5科目までの欠席については補講を実施し、受講修了者と同等の知識・技術が得られ、修了評価試験を適正に修了した者を研修修了者と認定する。 補講費用は1科目につき5,000円とする。</p>
<p>19 受講の取消</p>	<p>次に該当する者は受講を取り消すことができるものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学習意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者 2) 研修の秩序を乱し、他の受講生に影響を及ぼす者 3) 受講態度等、講師や指導員の注意によっても改善が見られない者 4) 欠席が6科目以上となる者
<p>20 受講者の個人情報の取扱い</p>	<p>業務上知り得た受講者の個人情報については外部に漏らすことがないようにする。 なお、研修修了者名簿は山口県知事に報告され、管理されるものとする。</p>

21 研修事業執行担当部署 及び研修責任者	研修事業執行担当部署： 有限会社みずほ企画 研修センター 研修責任者： 研修センター長 武永 昇
22 その他研修実施に係る 留意事項	この学則に定めのない事項で必要であると認められる場合は、別に定める。

別添様式3

講師一覧

事業者名 _____

研修事業の名称 _____

年 月 日 現在

科目番号／項目番号／項目名	講師名	資格等	専任・兼任

*項目ごとに担当講師を記載すること。

*病気等による急な講師変更への対応も考慮し、担当することが想定される講師すべてを記載すること。

別添様式 4

講 師 履 歴

年 月 日 現在

担当科目番号 /項目番号/ 項目名 (複数の科目・ 項目を担当する 場合は、全て記 入すること)				専任・兼任 (該当に○)
ふりがな 氏 名		生年月日	年 月 日	
現在の所属 ・職及び 業務内容	所 属			
	職及び 業務内容	(年 月～)		
担当科目に関 係のある経歴	勤務先名称	担当業務 (科目) 内容	期 間	
			年 月～ 年 月	
			年 月～ 年 月	
			年 月～ 年 月	
			年 月～ 年 月	
			年 月～ 年 月	
			年 月～ 年 月	
			年 月～ 年 月	
			年 月～ 年 月	
担当科目に関 係のある資 格・免許	名 称		取得年月日	
			年	月
				日
そ の 他 参考事項				

*担当科目に係る経歴欄は、講師基準を満たしていることがわかるように必要な事項を詳細に記入すること。

*資格・免許の取得年月日欄は、必ず免許証等を確認の上、年月日まで正確に記入すること。

講師就任承諾書

(研修事業者名) 様

私は、貴事業者が実施する介護員養成研修の講師として、 年 月 日から就任することを承諾いたします。

年 月 日

住 所
氏 名

研修会場一覧

事業者名 _____
 研修事業の名称 _____

	会場名	定員	(演習会場が異なる場合) 会場名	定員
	所在地	面積(m ²)	所在地	面積(m ²)
		借上げ		借上げ
1				
2				
3				
4				
5				
6				

※自施設でなく借上げの会場の場合は「借上げ」欄に○を記入すること。なお、当該研修の研修実施計画書には、会場使用承諾書等の写しの添付が必要。

別添様式 9

使用備品一覧

事業者名 有限会社みずほ企画
 研修事業の名称 介護職員初任者研修(通信)

備品名	台数	所有 / レンタル
ベッド	5	所有
車いす		所有
杖		所有
心肺蘇生用人形	2	所有
AED (訓練用)	2	所有
ノート PC	2	所有
プロジェクタ	1	所有
スクリーン	1	所有
		所有 ・ レンタル ・ その他 ()
		所有 ・ レンタル ・ その他 ()

情報開示項目及び開示方法について

事業者名 _____

大区分	中区分	小区分（開示情報項目）	確認欄 開示事項 に○
研修機関 情報	法人情報 ☆	● 法人格・法人名称・住所等	○
		● 代表者名、研修事業担当理事・取締役名	○
		△ 理事等の構成、組織、職員数等	
		△ 教育事業を実施している場合・事業概要	
		△ 研究活動を実施している場合・概要	
		△ 介護保険事業を実施している場合・事業概要	
		△ その他の事業概要	
		△ 法人財務情報	
	研修機関 情報 ☆	● 事業所名称・住所等	○
		● 理念	○
		● 学則	○
		● 研修施設、設備	○
		△ 沿革	
		△ 事業所の組織、職員数等	
△ 併設して介護保険事業を実施している場合・事業概要☆			
△ 財務セグメント情報			
研修事業 情報	研修の概 要	● 対象	○
		● 研修のスケジュール（期間、日程、時間数）	○
		● 定員（集合研修、実習）と指導者数	○
		● 研修受講までの流れ（募集、申し込み）	○
		● 費用	○
		● 留意事項、特徴、受講者へのメッセージ等	○
	課程責任 者	● 課程編成責任者名	○
		△ 課程編成責任者の略歴、資格	
	研修カリ キュラム (通信)	● 科目別シラバス	○
		● 科目別担当教官名	○
		● 科目別特徴 演習の場合は、実技内容・備品、指導体制	○
		● 科目別通信・事前・事後学習とする内容及び時間	○
		● 通信課程の教材・指導体制・指導方法・課題	○
		● 修了評価の方法、評価者、再履修等の基準	○
実習施設 (実習を行 う場合)	● 協力実習機関の名称・住所等☆	○	
	● 協力実習機関の介護保険事業の概要☆	○	
	● 協力実習機関の実習担当者名	○	

	● 実習プログラム内容、プログラムの特色	○
	● 実習中の指導体制・内容（振り返り、実習指導等）	○
	△ 実習担当者の略歴、資格、メッセージ等	
	● 協力実習機関における延べ人数	○
講師情報	● 名前	○
	● 略歴、現職、資格	○
	△ 受講者向けメッセージ	
	△ 受講者満足度調査の結果等	
実績情報	● 過去の研修実施回数（年度ごと）	○
	● 過去の研修延べ参加人数（年度ごと）	○
	△ 卒業率・再履修率	
	△ 卒後の就業状況（就職率／就業分野）	
	△ 卒後の相談・支援	
連絡先等	● 申し込み・資料請求先	○
	● 法人の苦情対応者名・役職・連絡先	○
	● 事業所の苦情対応者名・役職・連絡先	○
質を向上させるための取り組み	△ 自己評価活動、相互評価活動	
	△ 実習の質の向上のための取り組み、研修機関と実習機関との連携	
	△ 研修活動、研究活動	
	△ 研修生満足度調査情報（アンケート、研修生の声など）	
	△ 事業所満足度調査情報（アンケート、事業所の声など）	

●：必須 △：可能な限り開示

☆：他のページにリンクで対応可能

開 示 方 法	法人ホームページ
開示先 URL アドレス	https://www.seirankai.or.jp/education/
閲覧可能（予定）年月日	2023年6月1日

※情報開示をホームページ上において開示する場合は開示先 URL を記載し、ホームページ開示前のプレビュー画面をプリントアウトしたものを添付すること。

※情報開示をパンフレットや冊子等により行う場合は、その案文を添付すること。

介護職員初任者研修の研修カリキュラム

事業者名 _____

研修事業の名称 _____

1 職務の理解 (時間)			
項目名	時間数	(うち 実習時 間数)	講義内容及び演習の実施方法 (別紙でも可)
	時間	時間	※記載例 <講義内容> ○○○○ ○○○○ <演習内容> ○○○○ ○○○○
	時間	時間	※記載例 <実習> ○○○○
合計			
2 介護における尊厳の保持・自立支援 (時間)			
項目名	時間数		講義内容及び演習の実施方法 (別紙でも可)
	時間		
	時間		
合計			

3 介護の基本（時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法（別紙でも可）
	時間	
合計		

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法（別紙でも可）
	時間	
	時間	
	時間	
合計		

5 介護におけるコミュニケーション技術（時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法（別紙でも可）
	時間	
	時間	
合計		
6 老化の理解（時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法（別紙でも可）
	時間	
	時間	
合計		

7 認知症の理解（ 時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法（別紙でも可）
	時間	
	合計	
8 障害の理解（ 時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法（別紙でも可）
	時間	
	時間	
	時間	
	合計	

9 こころとからだのしくみと生活支援技術（ 時間）

	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法（別紙でも可）
基本知識の学習		時間	
		時間	
		時間	
生活支援技術の講義・演習		時間	
		時間	

		時間	
		時間	
		時間	
生活支援技術演習		時間	
		時間	
実習		時間	
	合計		
10 振り返り (時間)			
項目名	時間数	(うち 実習時間数)	講義内容及び演習の実施方法 (別紙でも可)
	時間	時間	
	時間	時間	
	合計		
全カリキュラム合計時間		時間	

※規定時間数以上のカリキュラムを組んでも差し支えない。

※本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること。

別添様式 1 1 - 1 - 2

介護職員初任者研修の研修カリキュラム（通信課程用）

事業者名 _____

研修事業の名称 _____

1 職務の理解（時間）				
項目名	時間数	（うち 実習時間数）		講義内容及び演習の実施方法 （別紙でも可）
	時間	時間	時間	※記載例 <講義内容> ○○○○ ○○○○ <演習内容> ○○○○ ○○○○
	時間	時間	時間	※記載例 <実習> ○○○○
合計				
2 介護における尊厳の保持・自立支援（時間）				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要（別紙でも可）
	時間	時間	時間	※記載例 <通信学習課題の内容> ○○○○ <講義内容> ○○○○ ○○○○ <演習内容> ○○○○
	時間	時間	時間	
合計				

3 介護の基本（時間）				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要（別紙でも可）
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
合計				

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（時間）				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要（別紙でも可）
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
合計				

5 介護におけるコミュニケーション技術（時間）				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要（別紙でも可）
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
合計				
6 老化の理解（時間）				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要（別紙でも可）
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
合計				

7 認知症の理解（時間）				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要（別紙でも可）
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
合計				
8 障害の理解（時間）				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要（別紙でも可）
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
合計				

		時間	時間	時間	
		時間	時間	時間	
		時間	時間	時間	
生活支援技術演習		時間	時間	時間	
		時間	時間	時間	
実習		時間			
	合計				
10 振り返り (時間)					
項目名	時間数	(うち 実習時間数)	講義内容及び演習の実施方法 (別紙でも可)		
	時間	時間			
	時間	時間			
	合計				
全カリキュラム合計時間		時間			

※規定時間数以上のカリキュラムを組んでも差し支えない。

※本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること

生活援助従事者研修の研修カリキュラム

事業者名 _____

研修事業の名称 _____

1 職務の理解 (時間)			
項目名	時間数	(うち 実習時 間数)	講義内容及び演習の実施方法 (別紙でも可)
	時間	時間	※記載例 <講義内容> ○○○○ ○○○○ <演習内容> ○○○○ ○○○○
	時間	時間	※記載例 <実習> ○○○○
合計			
2 介護における尊厳の保持・自立支援 (時間)			
項目名	時間数		講義内容及び演習の実施方法 (別紙でも可)
	時間		
	時間		
合計			

3 介護の基本（時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法（別紙でも可）
	時間	
合計		

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法（別紙でも可）
	時間	
	時間	
	時間	
合計		

5 介護におけるコミュニケーション技術（時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法（別紙でも可）
	時間	
	時間	
合計		

6 老化と認知症の理解（時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法（別紙でも可）
	時間	
合計		

7 障害の理解（時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法（別紙でも可）
	時間	
	時間	
	時間	
合計		

8 こころとからだのしくみと生活支援技術（ 時間）

	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法（別紙でも可）
基本知識の学習		時間	
		時間	
		時間	
生活支援技術の学習		時間	
		時間	

生活支援技術演習		時間	
実習		時間	
	合計		
9 振り返り (時間)			
項目名	時間数	(うち 実習時間数)	講義内容及び演習の実施方法 (別紙でも可)
	時間	時間	
	時間	時間	
	合計		
全カリキュラム合計時間		時間	

※規定時間数以上のカリキュラムを組んでも差し支えない。

※本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること。

別添様式 1 1 - 2 - 2

生活援助従事者研修の研修カリキュラム(通信課程用)

事業者名 _____

研修事業の名称 _____

1 職務の理解 (時間)				
項目名	時間数	(うち 実習時間数)		講義内容及び演習の実施方法 (別紙でも可)
	時間	時間		※記載例 <講義内容> ○○○○ ○○○○ <演習内容> ○○○○ ○○○○
	時間	時間		※記載例 <実習> ○○○○
合計				
2 介護における尊厳の保持・自立支援 (時間)				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要 (別紙でも可)
	時間	時間	時間	※記載例 <通信学習課題の内容> ○○○○ <講義内容> ○○○○ ○○○○ <演習内容> ○○○○
	時間	時間	時間	
合計				

3 介護の基本（時間）				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要（別紙でも可）
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
合計				

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（時間）				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要（別紙でも可）
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
合計				

5 介護におけるコミュニケーション技術（時間）				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要（別紙でも可）
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
合計				

6 老化と認知症の理解(時間)				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要 (別紙でも可)
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
合計				

7 障害の理解（時間）				
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要（別紙でも可）
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
	時間	時間	時間	
合計				

生活支援技術演習		時間	時間	時間	
実習		時間			
	合計				
9 振り返り (時間)					
項目名	時間数	(うち 実習時間数)	講義内容及び演習の実施方法 (別紙でも可)		
	時間	時間			
	時間	時間			
	合計				
全カリキュラム合計時間		時間			

※規定時間数以上のカリキュラムを組んでも差し支えない。

※本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること

標準研修日程表

事業者名

研修事業の名称

日程	時間	時間数	科目番号/項目番号/項目名	会場
第1日目	: ~ :			
第2日目				
第3日目				
第4日目				

*オリエンテーション、修了評価試験も記載すること。

標準研修日程表（通信課程用）

事業者名 _____

研修事業の名称 _____

1 通学日程表

日程	時間	時間数	科目番号/項目番号/項目名	会場
第1日目	: ~ :			
第2日目				
第3日目				
第4日目				

*オリエンテーション、修了評価試験も記載すること。

2 通信添削課題提出期限

提出回	科目番号/項目番号/項目名	提出期限 設定時期
第 回		
第 回		
第 回		
第 回		
第 回		
最終締切日		

2 通信添削課題提出期限

提出回	科目番号/項目番号/項目名	提出期限	担当講師
第 回		平成 年 月 日	
第 回		平成 年 月 日	
第 回		平成 年 月 日	
第 回		平成 年 月 日	
第 回		平成 年 月 日	
最終締切日		平成 年 月 日	

注：看護師、准看護師又は保健師の資格を有する方は、看護師等の免許証をもって、介護員養成研修の修了証明書に代える取り扱いとなりました。

別添様式 16

介護員養成研修修了証明申請書

年 月 日

山口県知事 様

申請者	住 所	〒
	ふりがな 氏 名	※自署のこと
	生年月日	年 月 日
	電 話	

私が、下記により介護員養成研修を修了した者とみなされるものであることを証明願います。

記

修了したとみなす課程		<input type="checkbox"/> 介護職員初任者研修課程 <input type="checkbox"/> 生活援助従事者研修課程	
介護員養成研修修了者とみなすことができる理由	保有資格	看護師 ・ 准看護師 ・ 保健師	
	上記資格に関する業務の従事経験		
	過去に受けた研修等		
訪問介護員として勤務する（予定）の事業所	所在地	郵便番号	
	名 称	(電話)	
(山口県収入証紙（700円分）貼付欄) ※ 消印はしないこと。			

- 注
- 「保有資格」欄は、該当するものを○で囲むこと。
 - 「上記資格に関する業務の従事経験」欄は、従事した施設名、職種、期間等を具体的に記入すること。
 - 「過去に受けた研修等」欄は、公的団体等が実施する介護業務等に関する研修の受講経験について記入すること。
 - 「訪問介護員として勤務する（予定）の事業所」欄は、具体的な事業所名を記入すること。

- 添付資料
- 1 保有資格の免許状等の写し
 - 2 実務経験申告書

実務経験申告書

年 月 日

山口県知事

様

申請者	住 所	〒
	ふりがな 氏 名	※自署のこと
	生年月日	年 月 日
	電 話	

私の看護師・准看護師・保健師・在宅福祉サービス等の実務経験について、以下のとおり申告します。

施設又は事業所の名称及び所在地	1 (所在地)		
	(名 称)		
	2 (所在地)		
	(名 称)		
業 務 期 間	1 年 月 日～ 年 月 日 (年 月)		
	2 年 月 日～ 年 月 日 (年 月)		
業 務 内 容	業 務 の 内 容	勤務形態	期 間
			年 月 日 ～
			年 月 日
			年 月 日 ～
			年 月 日
		年 月 日 ～	
		年 月 日	

注 1 申告書の作成日現在の状況を記入すること。

2 「勤務形態」欄には、常勤、非常勤又は登録の別及び1月平均勤務日数のおよその日数を記入すること。

介護職員初任者研修における履修科目免除一覧

事業者名 _____

研修事業の名称 _____

研修指定番号 _____

1 生活援助従事者修了者

3 介護の基本	(2)介護職の職業倫理	免除する / 免除しない
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	(3)障害福祉制度及びその他制度	免除する / 免除しない
5 介護におけるコミュニケーション技術	(1)介護におけるコミュニケーション	免除する / 免除しない
	(2)介護におけるチームのコミュニケーション	免除する / 免除しない
6 老化の理解	(1)老化に伴うこころとからだの変化と日常	免除する / 免除しない
	(2)高齢者と健康	免除する / 免除しない
7 認知症の理解	(1)認知症を取り巻く状況	免除する / 免除しない
	(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	免除する / 免除しない
	(4)家族への支援	免除する / 免除しない
8 障害の理解	(1)障害の基礎的理解	免除する / 免除しない
	(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	免除する / 免除しない
	(3)家族の心理、かかわり支援の理解	免除する / 免除しない
9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解	免除する / 免除しない
	(4)生活と家事	免除する / 免除しない
	(11)睡眠に関するこころとからだのしくみと自立に向けた介護	免除する / 免除しない
	(13)介護課程の基礎的理解	免除する / 免除しない

2 入門的研修修了者

3 介護の基本	(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	免除する / 免除しない
	(2)介護職の職業倫理	免除する / 免除しない
	(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント	免除する / 免除しない
	(4)介護職の安全	免除する / 免除しない
6 老化の理解	(1)老化に伴うこころとからだの変化と日常	免除する / 免除しない
	(2)高齢者と健康	免除する / 免除しない
7 認知症の理解	(1)認知症を取り巻く状況	免除する / 免除しない
	(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	免除する / 免除しない
	(3)認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	免除する / 免除しない
	(4)家族への支援	免除する / 免除しない
8 障害の理解	(1)障害の基礎的理解	免除する / 免除しない
	(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	免除する / 免除しない
	(3)家族の心理、かかわり支援の理解	免除する / 免除しない

3 認知症介護基礎研修修了者

7 認知症の理解	(1)認知症を取り巻く状況	免除する / 免除しない
	(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	免除する / 免除しない
	(3)認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	免除する / 免除しない
	(4)家族への支援	免除する / 免除しない

4 訪問介護に関する三級課程修了者

9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(4)生活と家事	免除する / 免除しない
	(13)介護課程の基礎的理解	免除する / 免除しない

別添様式18-1-2

介護職員初任者研修における履修科目免除一覧（通信課程用）

事業者名

研修事業の名称

研修指定番号

※表に記載している「全て免除」「通学免除」の説明は別紙6「介護職員初任者研修における、履修科目が重複する研修修了者の研修受講に係る受講免除範囲」を参照のこと。

1-1 生活援助従事者修了者

※「*」の付いた科目を通学免除とする場合は、「1-2 生活援助従事者修了者の通学免除に係る通信科目内容チェックリスト」も記入すること。

2	介護における尊厳の保持・自立支援	(1)人権と尊厳を支える介護(*)	通学免除	/	免除しない		
		(2)自立に向けた介護(*)	通学免除	/	免除しない		
3	介護の基本	(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携(*)	通学免除	/	免除しない		
		(2)介護職の職業倫理	全て免除	/	通学免除	/	免除しない
		(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント(*)	通学免除	/	免除しない		
		(4)介護職の安全(*)	通学免除	/	免除しない		
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	(1)介護保険制度(*)	通学免除	/	免除しない		
		(2)医療との連携とリハビリテーション(*)	通学免除	/	免除しない		
		(3)障害福祉制度及びその他制度	全て免除	/	通学免除	/	免除しない
5	介護におけるコミュニケーション技術	(1)介護におけるコミュニケーション	全て免除	/	通学免除	/	免除しない
		(2)介護におけるチームのコミュニケーション	全て免除	/	通学免除	/	免除しない
6	老化の理解	(1)老化に伴うこころとからだの変化と日常	全て免除	/	通学免除	/	免除しない
		(2)高齢者と健康	全て免除	/	通学免除	/	免除しない
7	認知症の理解	(1)認知症を取り巻く状況	全て免除	/	通学免除	/	免除しない
		(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	全て免除	/	通学免除	/	免除しない
		(3)認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活(*)	通学免除	/	免除しない		
		(4)家族への支援	全て免除	/	通学免除	/	免除しない
8	障害の理解	(1)障害の基礎的理解	全て免除	/	通学免除	/	免除しない
		(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	全て免除	/	通学免除	/	免除しない
		(3)家族の心理、かかわり支援の理解	全て免除	/	通学免除	/	免除しない
9	こころとからだのしくみと生活支援技術	(3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解	全て免除	/	通学免除	/	免除しない
		(4)生活と家事	全て免除	/	通学免除	/	免除しない
		(11)睡眠に関するこころとからだのしくみと自立に向けた介護	全て免除	/	通学免除	/	免除しない
		(13)介護課程の基礎的理解	全て免除	/	通学免除	/	免除しない

1-2 生活援助従事者修了者の通学免除に係る通信科目内容チェックリスト

※「1-1 生活援助従事者修了者」で「*」の付いた科目を通学免除とする場合は、以下の表を記入すること。

※通学免除となる科目が「含まない」となる場合は、その科目は免除できないため注意すること。

科目名	通学免除の場合に必要な通信科目内容	左記内容を含む／含まない または該当科目を免除しない
2 介護における尊厳の保持・自立支援		
(1) 人権と尊厳を支える介護	(5) 虐待防止・身体拘束禁止 ○身体拘束禁止、○高齢者虐待防止法、○高齢者の養護者支援	含む／含まない／免除しない
(2) 自立に向けた介護	(1) 自立支援 ○自立・自律支援、○残存能力の活用、○動機と欲求、○意欲を高める支援、○個別性／個別ケア、○重度化防止 (2) 介護予防 ○介護予防の考え方	含む／含まない／免除しない
3 介護の基本		
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	(1) 介護環境の特徴の理解 ○訪問介護と施設介護サービスの違い (2) 介護の専門性 ○多職種から成るチーム (3) 介護に関わる職種 ○異なる専門性を持つ多職種の理解、○介護支援専門員、○サービス提供責任者、○看護師等とチームとなり利用者を支える意味、○互いの専門職能力を活用した効果的なサービスの提供、○チームケアにおける役割分担	含む／含まない／免除しない
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	(1) 介護における安全の確保 ○事故に結びつく要因を探り対応していく技術、○リスクとハザード (2) 事故予防、安全対策 ○リスクマネジメント、○分析の手法と視点、○事故に至った経緯の報告（家族への報告、市町村への報告等）、○情報の共有	含む／含まない／免除しない
(4) 介護職の安全	介護職の心身の健康管理 ○腰痛の予防に関する知識	含む／含まない／免除しない
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携		
(1) 介護保険制度	(3) 制度を支える財源、組織・団体の機能と役割 ○財政負担、○指定介護サービス事業者の指定	含む／含まない／免除しない
(2) 医療との連携とリハビリテーション	2 医療との連携とリハビリテーション ○医行為と介護、○施設における看護と介護の役割・連携、○リハビリテーションの理念	含む／含まない／免除しない
7 認知症の理解		
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	(2) 認知症の利用者への対応 ○本人の気持ちを推察する、○プライドを傷つけない、○相手の世界に合わせる、○失敗しないような状況をつくる、○すべての援助行為がコミュニケーションであると考え、○身体を通じたコミュニケーション、○相手の様子・表情・視線・姿勢などから気持ちを洞察する、○認知症の進行に合わせたケア	含む／含まない／免除しない

2 入門的研修修了者

3 介護の基本	(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	全て免除／通学免除／免除しない
	(2)介護職の職業倫理	全て免除／通学免除／免除しない
	(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント	全て免除／通学免除／免除しない
	(4)介護職の安全	全て免除／通学免除／免除しない
6 老化の理解	(1)老化に伴うこころとからだの変化と日常	全て免除／通学免除／免除しない
	(2)高齢者と健康	全て免除／通学免除／免除しない
7 認知症の理解	(1)認知症を取り巻く状況	全て免除／通学免除／免除しない
	(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	全て免除／通学免除／免除しない
	(3)認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	全て免除／通学免除／免除しない
	(4)家族への支援	全て免除／通学免除／免除しない
8 障害の理解	(1)障害の基礎的理解	全て免除／通学免除／免除しない
	(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	全て免除／通学免除／免除しない
	(3)家族の心理、かかわり支援の理解	全て免除／通学免除／免除しない

3 認知症介護基礎研修修了者

7 認知症の理解	(1)認知症を取り巻く状況	全て免除／通学免除／免除しない
	(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	全て免除／通学免除／免除しない
	(3)認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	全て免除／通学免除／免除しない
	(4)家族への支援	全て免除／通学免除／免除しない

4-1 訪問介護に関する三級課程修了者

※「*」の付いた科目を通学免除とする場合は、「4-2 訪問介護に関する三級課程修了者の通学免除に係る通信科目内容チェックリスト」も記入すること。

2 介護における尊厳の保持・自立支援	(1)人権と尊厳を支える介護(*)	通学免除 / 免除しない
	(2)自立に向けた介護(*)	通学免除 / 免除しない
9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(4)生活と家事	全て免除/通学免除/免除しない
	(13)介護課程の基礎的理解	全て免除/通学免除/免除しない

4-2 訪問介護に関する三級課程修了者の通学免除に係る通信科目内容チェックリスト

※「4-1 訪問介護に関する三級課程修了者」で「*」の付いた科目を通学免除とする場合は、以下の表を記入すること。

※通学免除となる科目が「含まない」となる場合は、その科目は免除できないため注意すること。

科目名	通学免除の場合に必要な通信科目内容	左記内容を含む/含まないまたは該当科目を免除しない
2 介護における尊厳の保持・自立支援		
(1)人権と尊厳を支える介護	(4)ノーマライゼーション ○ノーマライゼーションの考え方 (5)虐待防止・身体拘束禁止 ○身体拘束禁止、○高齢者虐待防止法、○高齢者の養護者支援 (6)個人の権利を守る制度の概要 ○個人情報保護法、○成年後見制度、○日常生活自立支援事業	含む/含まない/免除しない
(2)自立に向けた介護	(2)介護予防 ○介護予防の考え方	含む/含まない/免除しない

生活援助従事者研修における履修科目免除一覧

事業者名

研修事業の名称

研修指定番号

1 入門的研修修了者

3 介護の基本	(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	免除する / 免除しない
	(2)介護職の職業倫理	免除する / 免除しない
	(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント	免除する / 免除しない
	(4)介護職の安全	免除する / 免除しない
6 老化と認知症の理解	(1)老化に伴うこころとからだの変化と日常	免除する / 免除しない
	(2)高齢者と健康	免除する / 免除しない
	(3)認知症を取り巻く状況	免除する / 免除しない
	(4)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	免除する / 免除しない
	(5)認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	免除する / 免除しない
	(6)家族への支援	免除する / 免除しない
7 障害の理解	(1)障害の基礎的理解	免除する / 免除しない
	(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	免除する / 免除しない
	(3)家族の心理、かかわり支援の理解	免除する / 免除しない

2 認知症介護基礎研修修了者

6 老化と認知症の理解	(3)認知症を取り巻く状況	免除する / 免除しない
	(4)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	免除する / 免除しない
	(5)認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	免除する / 免除しない
	(6)家族への支援	免除する / 免除しない

3 訪問介護に関する三級課程修了者

8 こころとからだのしくみと生活支援技術	(4)生活と家事	免除する / 免除しない
	(10)介護課程の基礎的理解	免除する / 免除しない

生活援助従事者研修における履修科目免除一覧（通信課程用）

事業者名

研修事業の名称

研修指定番号

※表に記載している「全て免除」「通学免除」の説明は別紙13「生活援助従事者研修における、履修科目が重複する研修修了者の研修受講に係る受講免除範囲」を参照のこと。

1 入門的研修修了者

3 介護の基本	(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	全て免除／通学免除／免除しない
	(2)介護職の職業倫理	全て免除／通学免除／免除しない
	(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント	全て免除／通学免除／免除しない
	(4)介護職の安全	全て免除／通学免除／免除しない
6 老化と認知症の理解	(1)老化に伴うこころとからだの変化と日常	全て免除／通学免除／免除しない
	(2)高齢者と健康	全て免除／通学免除／免除しない
	(3)認知症を取り巻く状況	全て免除／通学免除／免除しない
	(4)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	全て免除／通学免除／免除しない
	(5)認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	全て免除／通学免除／免除しない
	(6)家族への支援	全て免除／通学免除／免除しない
7 障害の理解	(1)障害の基礎的理解	全て免除／通学免除／免除しない
	(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	全て免除／通学免除／免除しない
	(3)家族の心理、かかわり支援の理解	全て免除／通学免除／免除しない

2 認知症介護基礎研修修了者

6 老化と認知症の理解	(3)認知症を取り巻く状況	全て免除／通学免除／免除しない
	(4)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	全て免除／通学免除／免除しない
	(5)認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	全て免除／通学免除／免除しない
	(6)家族への支援	全て免除／通学免除／免除しない

3-1 訪問介護に関する三級課程修了者

※「*」の付いた科目を通学免除とする場合は、「3-2 訪問介護に関する三級課程修了者の通学免除に係る通信科目内容チェックリスト」も記入すること。

2 介護における尊厳の保持・自立支援	(1) 人権と尊厳を支える介護 (*)	通学免除 / 免除しない
	(2) 自立に向けた介護 (*)	通学免除 / 免除しない
8 こころとからだのしくみと生活支援技術	(4) 生活と家事	全て免除/通学免除/免除しない
	(10) 介護課程の基礎的理解	全て免除/通学免除/免除しない

3-2 訪問介護に関する三級課程修了者の通学免除に係る通信科目内容チェックリスト

※「3-1 訪問介護に関する三級課程修了者」で「*」の付いた科目を通学免除とする場合は、以下の表を記入すること。

※通学免除となる科目が「含まない」となる場合は、その科目は免除できないため注意すること。

科目名	通学免除の場合に必要な通信科目内容	左記内容を含む/含まない または該当科目を免除しない
2 介護における尊厳の保持・自立支援		
(1) 人権と尊厳を支える介護	(4) ノーマライゼーション ○ノーマライゼーションの考え方 (5) 虐待防止・身体拘束禁止 ○身体拘束禁止、○高齢者虐待防止法、○高齢者の養護者支援 (6) 個人の権利を守る制度の概要 ○個人情報保護法、○成年後見制度、○日常生活自立支援事業	含む/含まない/免除しない
(2) 自立に向けた介護	(2) 介護予防 ○介護予防の考え方	含む/含まない/免除しない

